

2020年度 放課後等デイサービス事業 事業所における自己評価結果(公表)

社会福祉法人岩内厚生園

事業所名 チャレンジキッズ どんぐり

公表: 令和 3年 6月 30日

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	②	職員の配置数は適切である	4				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	1		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年はコロナの関係で研修を受ける機会が少なかった。すがた医院OTからの研修は継続している。</li> <li>・今年はコロナでなし。</li> <li>・今年度はコロナの関係で参加できていない。</li> <li>・今年はコロナで機会なし。予算や職員の人数不足のより十分出来ていない。</li> </ul>
	⑨	アセスメントを適宜行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4				

16	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1		
適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日は開所していません。長期休暇中はいつもと違った活動を取り入れるようにしたがコロナのためあまり外出できなかった。</li> <li>・休日は閉所しているが、長期休暇の際は様々な課題を考えている。</li> </ul>
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		1	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	2	2		
	関係機関や保護者との連携関係機関や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		
㉑		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			
㉒		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児童はいません。</li> <li>・今のところはいない。</li> <li>・今は対象がない。</li> <li>・受け入れなし。</li> </ul>
㉓		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、幼稚園との共有はないが、他地域からの途中で入所してきた児童に関しては前の事業所と情報共有している。</li> </ul>

保護者との連携	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1		3		・対象児童がない。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2		2		
	②⑥	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1		3		・体育館や公園での活動時に一緒に活動するようにしている。 ・今年はコロナでなし。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2		2		・今年はコロナでなし。 ・今年は行っていない。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			4		
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				・今年はコロナでなし。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	2		・父母会、保護者会なし。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1			・苦情対応のケースなし。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				
	③⑮	個人情報に十分注意している	4				・配布まちがい有り。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1			・メモを残す等の配慮は行っている。
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		3			

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している	2	1	1		・部分的に必要と思われる所は具体化して保護者に通知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	1		・今年はない。 ・職員への研修は不十分。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1			・身体拘束の必要な子がない。保護者には危険行為がみられた時に説明をしている程度。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		1	3		・医師の指示書はないが、親には確認しながら対応しています。 ・保護者に確認はしている。 ・保護者からの申し出。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				